



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〜第三一〜号〜

小雪 しやうせつ 十一月二十二日

庭積の机代物

十月の「即位礼正殿の儀」に続き、天皇陛下は十一月十四、十五日に皇位継承に伴う重要なお祭り「大嘗祭」に臨まれました。

大嘗祭は、即位された天皇が初めて行う新嘗祭で、在位中一度だけのこと。中心となるのが、新造した悠紀殿・主基殿で天皇が伊勢神宮のご祭神の天照大神に向けてお食事を供え、みずからも召し上がるという大嘗宮の儀です。天照大神が皇室の祖先につながるためです。そして、今年には伊勢神宮をはじめ、各地の神社でも新嘗祭は行われず、大嘗祭の当日祭が執り行われたようです。これも代替わりの年ならではのようです。

大嘗祭は日本古来の収穫祭がルートとされています。まずは亀の甲羅を焼いて占う「亀卜」が行われました。そして、選ばれた悠紀地方（栃木県）と主基地方（京都府）の斎田で収穫された新穀から作る御飯や神酒、粟などが神前に供えられたのです。

こうした神饌とは異なり、明治四年の大嘗祭から、全国各地から献納される農林水産品があります。「庭積の机代物」といいます。令和の今回、四十七都道府県から原則五品目が出されました。

北の北海道からは小豆や馬鈴しょ、南の沖縄県からはゴーヤーや乾燥モズク、三重県からは、茶、みかん、のしあわび、乾燥ひじき、鰹節が選ばれました。じつはその選定にあたり、私は担当者に助言を行っていました。三重の土地柄が生んだ特産品になったように思います。

大嘗祭に供えられる各地の特産品。これも日本の農林水産業の振興を願ってことです。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

しめ縄作りや餅つきなど、昔ながらの風習に触れる、お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

と き／12月14日(土)～28日(土)

10:00～17:00 ※催しによっては、開催日時が多少異なります。

ところ／おかげ横丁一帯

○ 福人募集

鏡開きや豆まきなど、年間を通じて催事が多いおかげ横丁では、「福人」として令和2年、様々な催しにご協力いただける子年生まれの方を募集いたします。

任 期／令和元年12月31日(火)～令和2年12月30日(水)

募集期間／令和元年12月10日(火)まで

お申込み／氏名・年齢(生年月日)・住所・電話番号を下記まで

郵送またはFAX

〒516-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52

株式会社伊勢福 福人募集係

FAX 0596-23-8814

問合せ／0596-23-8827 おかげ横丁 福人募集係

五十鈴塾

○ 旅する神々⑤ ～倭建命の東征～

『古事記』中つ巻は、神と人(天皇)の関係が煩瑣で、まだ人が神から解放されていない状況が描かれています。その中で、犠牲になるのが倭建命。十二代景行天皇の第三子で、倭姫の甥神です。その「荒き情」を怖れた天皇が西征を命じ、続いて東征を命じます。それによって関東までが平定されるのですが、倭建命は、帰路の能煩野(鈴鹿)で原因不明の危篤状態に。「倭は国のまほろば……」とは、望郷の念にかられての辞世の句のひとつでした。

と き／11月27日(水) 18:30～20:00

講 師／神崎 宣武(民俗学者・五十鈴塾塾長)

参加料／一般1,650円 会員1,150円

ところ／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

きざんか
山茶花

こし餡を山芋入りの練りきりで包み、色・味ともにさらりと品よく仕上げた、初冬の花の便りです。

みさか薯蕷

お酒と麴を加えた山芋の生地で、粒餡を包みました。餡の甘みにほんのり酒粕が香る、上品な味わいが特長です。

ざんなんもち
银杏餅

银杏の素朴な風味を生かして、粒餡とともに餅皮で包みました。そろそろ冬支度にかかる、里の晩秋を感じさせます。